

技術と信頼のトレードマーク



メータバイパスユニット

MBU-S

25、30、40、50、75

- 簡便な不断水メータ交換システム
- 十分な強度と耐久性



東京都水道局認証品

ふたの塗装色は黒(日本塗料工業会 N-10) / グレー(日本塗料工業会 N-30)です



株式
会社

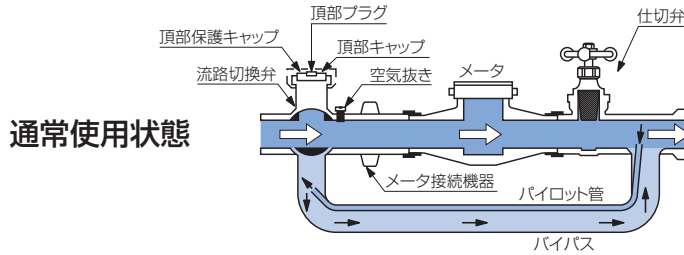
素敵な創造～人へ・未来へ

日邦バルブ

メータバイパスユニット MBU-S

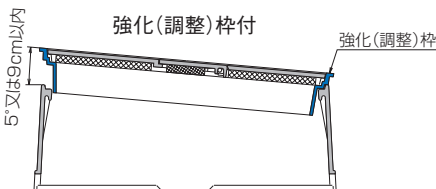
開発の経緯

中高層建物への給水は、給水サービスの向上や、小規模受水槽の衛生上の問題解決から、増圧直結給水方式が導入されるようになってまいりましたが、貯留機能がない直結給水方式では、親メータの交換時に建物全体が断水となるといった問題があります。このため東京都水道局では、増圧直結給水方式を導入するに当たり、断水せずに、更に簡便にメータ交換が出来る「メータバイパスユニット」に関する構想と認証基準を策定しました。当社では、都の仕様に基づき様々な工夫と改良を加え、「MBU-S」として製品化致しました。



特長

- 1) メータ引換え時、断水なし**
 - メータ引換え時は、流路切換弁を操作し、バイパス通水となりますので、断水せずに作業が行えます。
 - 流路切換操作中、下流側給水に影響を及ぼしません。
- 2) 簡便なメータ脱着機構**
 - 工具を使わず、ハンドルを手で回転させて、伸縮部をメータに圧着します。パッキンを使わず、組み込んであるOリングで止水します。
- 3) 停滞水なし**
 - バイパス管内の水は、パイロット管からの流れにより、停滞水とはなりません。
- 4) 耐食性に優れる**
 - 弁類・継手類の主要材料は鉛レス青銅铸件であり、またバイパス管はステンレスとしているため耐食性に優れ、水質への影響もありません。
- 5) メータますと一体化**
 - 弁類・継手類と配管がます底部に固定されています。前後の管接続だけのため、手間が省けます。
 - 検針用小窓が付いており、検針作業が容易に行えます。
 - ますは、PDCPD（耐候性・耐衝撃性に優れた熱硬化性樹脂）製で、従来品と比較して大幅に軽量化されましたが、十分な強度と耐久性が確保されています。東京都では、ふたの中心に11.8kNの荷重を加えた後の残留たわみ量が2mm以下、また、16.6kNの荷重でメータます等の異状がなく、たわみ量が15mm未満となっていますが、MBU-Sは、この規定を十二分にクリアしています。
 - 50・75では、更に強度アップした強化（調整）枠付を用意しています。傾斜地対応（勾配5°以内）や嵩上げ（9cm以内）が可能です。
 - ますには、隔測装置用配線のための穴を備え、ふたはダクタイル鋳鉄（FCD450）製で保温材付きです。





種類・仕様

■品揃え

商品記号	呼び径	仕 様		説 明
		外部接続部	メータ接続部	
MBU-S	25	Rc	C	Rc : 管用テーパめねじ (JIS B 0203)
	30		・	C : 都ねじ (普通ねじ、舶来ねじ)
	40		T	T : 上水ねじ (統一ねじ、協会ねじ)
	50	Rc	J/F	J/F : 一次側はヴィクトリックジョイント
	75	上水フランジ	J/F	J/F : 二次側は上水フランジ (Oリングにて止水)

ステンレス配管に接続する場合は、一次側接続部にSSP継手おねじを使用します。

■ご用命に際して

ご用命の際は、次の事項をご指定願います。

1. ユニットの呼び径
2. 一次側接続部
3. メータのねじ
4. 数量
5. その他

備考

- 1) 流路切換弁の開閉ハンドル(バイパス切換用、停水用)は、水道事業体管理品のため、販売しておりません。
- 2) 必要に応じて、荷降ろし用にフォークリフト等を用意してお受け取り下さい。

ご注文例

- ①メータバイパスユニット 30mm
MBU-S-Rc-C 1台
- ②メータバイパスユニット 50mm
MBU-S-Rc 1台

■認証登録



- 認証機関：公益社団法人 日本水道協会 品質認証センター
- 適合性能：耐圧・浸出
- 認証番号：M-245(呼び径25~50)、M-363(呼び径75)
- 東京都水道局認証品

■仕様

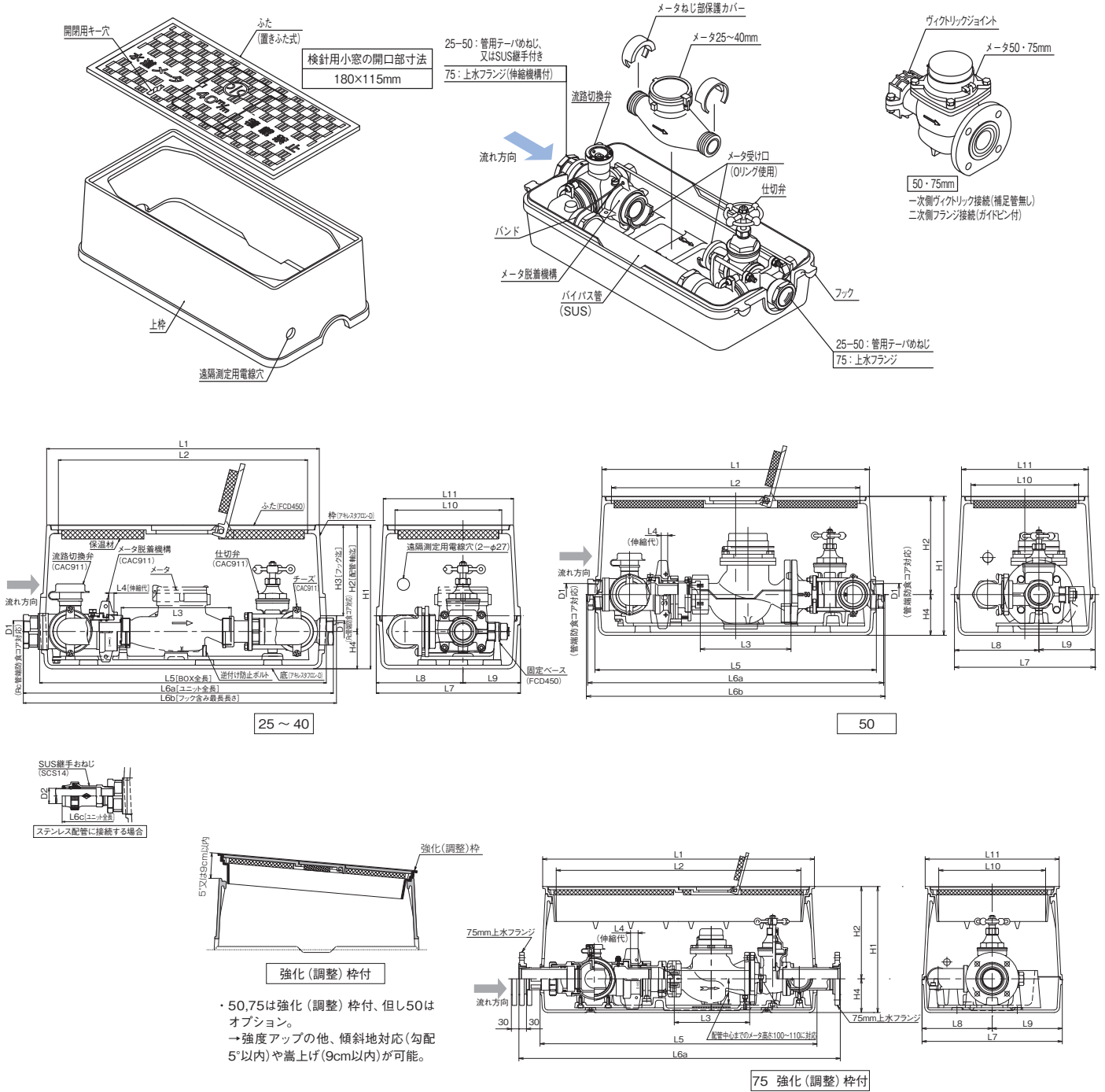
呼び径		25	30	40	50	75
使用メータの型式		DA	DA	TV	FVA	FVA
使用メータのねじ等		上水ねじ 都ねじ	上水ねじ 都ねじ	上水ねじ 都ねじ	補足管無し 一次側：ヴィクトリックジョイント 二次側：上水フランジ	補足管無し 一次側：ヴィクトリックジョイント 二次側：上水フランジ
メータ受け口用 Oリング(mm)	規格・呼び	JASO 2030	P-36	P-45	P-70	P-105
	内径 線径	29.7 2.4	35.7 3.5	44.7 3.5	69.6 5.7	104.6 5.7
重量(kg) (メータ無しの時)		約32	約43	約43	約68 強化(調整)枠付 約85	強化(調整)枠付 約227
使用流体		水道水				
使用圧力		0.75MPa以下				

※都ねじ=普通ねじ・舶来ねじ 上水ねじ=統一ねじ・協会ねじ

注意 遠隔メータを使う場合には、高さに注意して下さい。自己発電型などのH寸法が高いメータ装置は、ユニットのふたが閉じなくなる恐れがあります。

メータバイパスユニット MBU-S

25-75 構造・寸法



*既設配管とのフランジ接続には、上水用フランジパッキンをご用意下さい。

■ 主要寸法表

記号	L1	L2	L3	L4	L5	L6a	L6b	L6c	L7	L8	L9	L10	L11	H1	H2	H3	H4	D1	D2	
25			225	13		684	686	776										Rc1	28.6	
30	607	555	230	11.3	638	690	697	791	321	193	128	238	290	320	237	202	83	Rc1 ¼	34	
40			245															Rc1 ½	42.7	
50*1	722	671	245	17.5	760	799	806	901	380	228	152	291	342	375	265			110	Rc2	48.6
75*2	1081	973	300~315	30	1106	1279±30			558	279	279	425	533	501	367			134		

*1: 呼び径50の標準タイプは強化(調整)枠が付きません。強化(調整)枠付の場合は、高さ(H1・H2)が29mm上がります。

*2: 呼び径75は強化(調整)枠付の寸法です。

取扱い上の注意

⚠ 注意

- 運搬中の落下にご注意ください。けがをする恐れがあります。

運 搬

1. 吊り下げる場合には、まず底板部に設けてあるフックにワイヤー等を掛け、掛かり具合を十分に確認し、水平に吊り下げて下さい。
2. 必要に応じて、フォークリフト等を用意して作業して下さい。

設 置

1. 設置場所は、開閉栓やメータの点検及び引換作業が容易に行え、常に乾燥しており、且つ損傷の危険の無い場所として下さい。
2. ユニツは水平に設置し、ずれ、沈下等が生じないようにして下さい。但し強化(調整)枠付の場合は、強化(調整)枠を傾けることにより設置場所の勾配(5°以内)に対応することができ、9cm程度の高さ調節が可能です。
3. **メータボックス周囲の転圧は、必ずふたを閉めた状態で行って下さい。**
4. ユニツに表示されている矢印を、流水方向に一致させて設置して下さい。
5. ふたは180°向きを変えることができます。
6. ユニツの弁は、出荷時には、**流路切換弁は開、仕切弁は閉**となっております。通水・止水の操作は、仕切弁で行ない、流路切換弁の開閉操作は、お止め下さい。

管接続

1. ユニツとの接続には、水道事業体の指定した材料を使用し、それぞれの施工規定に従って接合して下さい。

メータ取付

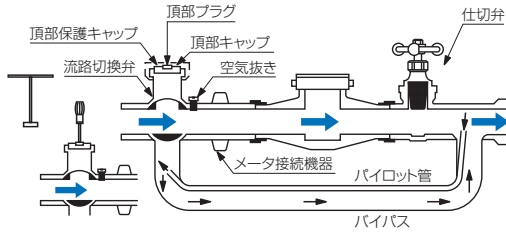
1. 管内は十分に洗浄して下さい。
2. メータ受け口に泥や異物が無く、Oリングが適切に装着されていることを確認して下さい。パッキンは使用しないで下さい。
3. 25~40mmユニツには、**都ねじ(普通ねじ・舶来ねじ)用と上水ねじ(統一ねじ・協会ねじ)用**の2種類があります。指定のメータ以外は取り付けられませんのでご注意下さい。また50・75mmは**補足管を使用しないFVA型で、一次側はヴィクトリックジョイント、二次側はフランジによる接続**となります。
4. メータに鑄出しされている流水方向の矢印と、ユニツに表示されている矢印を一致させて取付けて下さい。
5. メータの接続は、メータを受け口に乘せ、メータ脱着機構のハンドルを「S」の方向に回転させ、**手で十分に締め付けて下さい。この時、工具は使用しないで下さい。**また、50・75mmは、**ガイドピンとボルト穴の嵌めあいを確認しながら締め付けて下さい。**
6. 締め付け後、緩み防止のため**結束バンド**をハンドルの穴に通し、バイパス管と結んで固定して下さい。(東京都では支給品です。)
7. ユニツ上流側の**仕切弁B**を開け、次にユニツの**仕切弁**を全開にしますと下流側へ給水されます。なお流路切換弁は、開となっておりますので操作しないで下さい。

メータバイパスユニット MBU-S



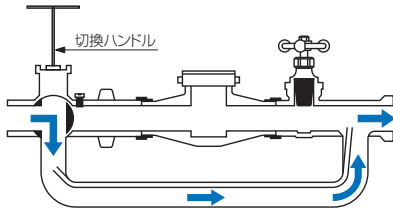
メータ引換え手順

1



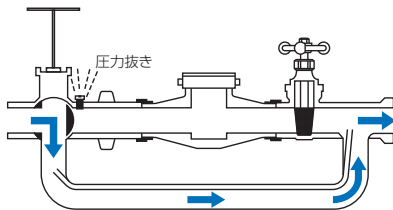
- 流路切換弁の保護キャップを外した後、頂部のプラグをマイナスドライバーで緩めキャップを引き抜く。

2



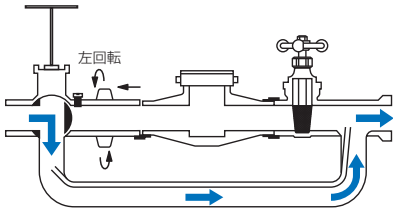
- バイパス切換ハンドル*を取付け、流路切換弁操作。
- この時ハンドルは外れません。
- バイパス管通水となる。

3



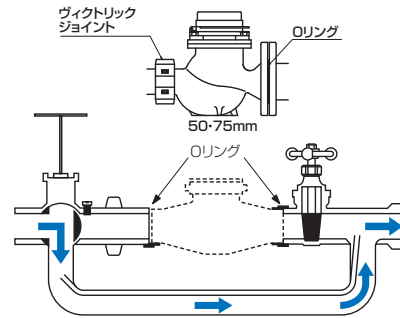
- 仕切弁を閉じる。
- 空気抜きより、圧力抜き。

4



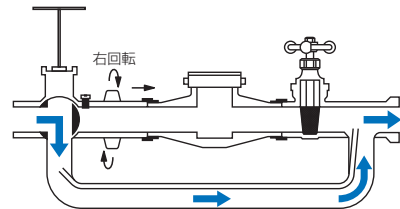
- メータ接続機器を左回転させ、伸縮部後退。

5



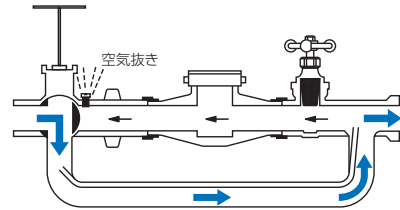
- メータ取外し。
- メータ取付け。

6



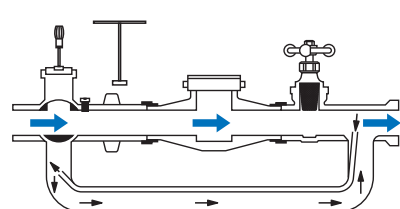
- メータ接続機器を右回転させ、伸縮部をメータに圧着。フランジ型は、ボルト穴と伸縮部のピンの嵌合を確認しながら回す。
- 締付けは工具を使わず、手でいっぱい締付ける。

7



- 仕切弁を開ける。メータ内充水。
- 空気抜きはエア排出後、閉める。

8



- 切換ハンドルを操作し、通常通水に戻す。
- 切換ハンドルを外す。
- 頂部キャップをセットし、プラグをマイナスドライバーで締付ける。
- 頂部に保護キャップを取付ける。

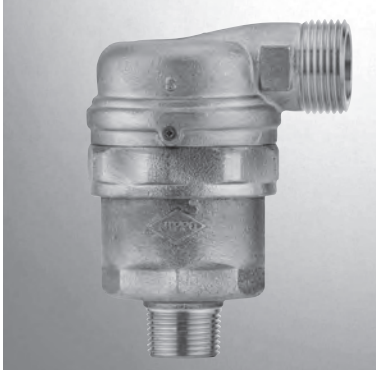
*バイパス切換ハンドルは、水道事業体にお問い合わせください。

増圧直結給水関連商品



立て管頂部の 吸排気弁 NAV E-471

■ NAV-S 20



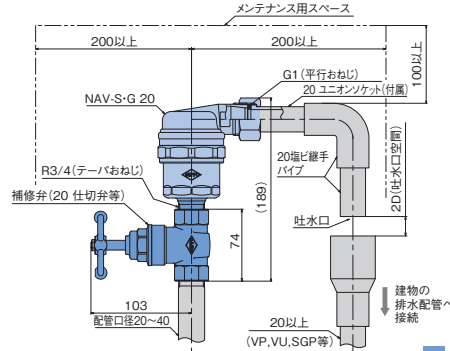
急速吸気(負圧破壊) →1台で40mm立て管に対応

自動空気抜き(圧力下排気)

排気(充電時)

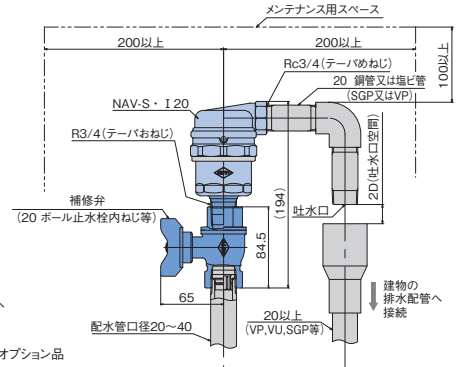
■NAV-S・G設置例

(排水配管接続部:管用平行おねじ、ナット接続)



■NAV-S・I設置例

(排水配管接続部:管用テーパめねじ)



■ NAV-ODC II 25

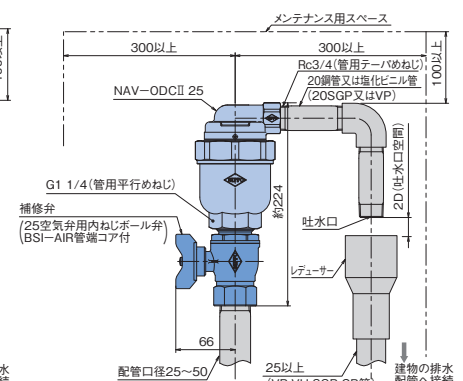
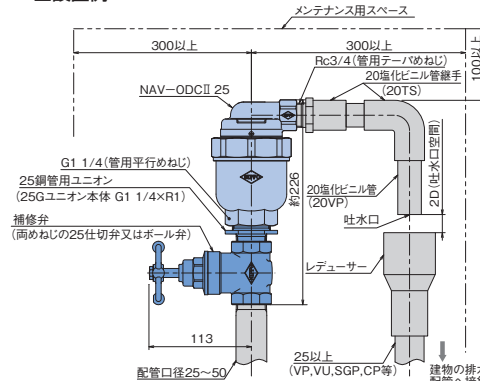


急速吸気(負圧破壊) →1台で50mm及び東京都75mm立て管に対応

自動空気抜き(圧力下排気)

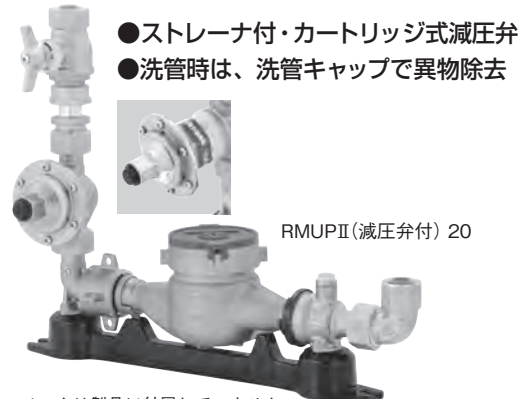
排気(充電時)

■設置例



パイプシャフト用 メータユニット MUP 13~25 M-244

■ 減圧弁付メータユニット



・メータは製品に付属していません。

■ メータユニット

- 簡便なメータ脱着機構
- 逆止弁内蔵



■ オプション品

● 保温カバー

● 伸縮回転継手

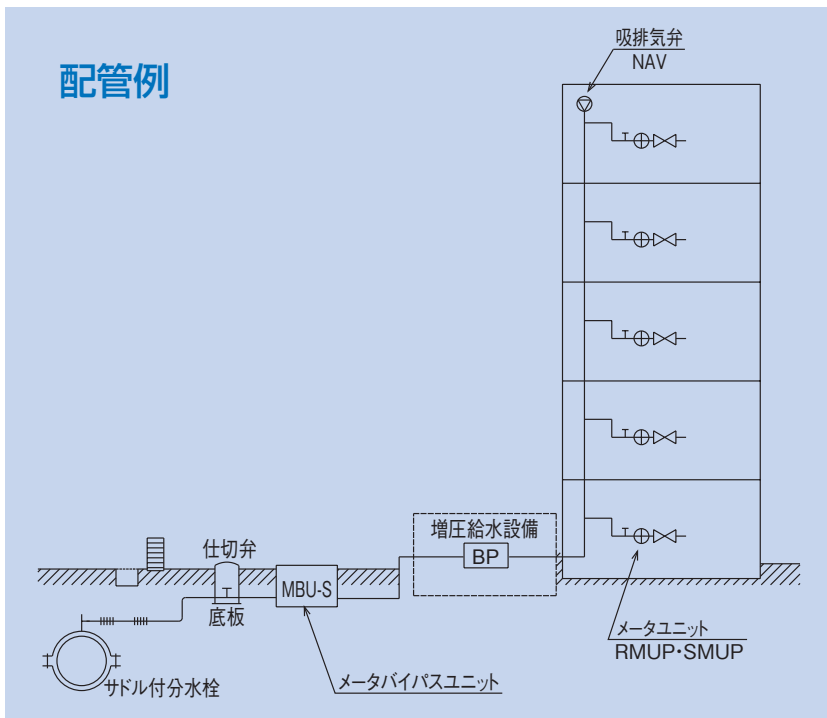
REJ-S (ストレート)
REJ-L (エルボ)

● PS用分岐金具

PDJ-S (ストレート)
PDJ-L (エルボ)

● DPチーズ DPT

配管例



株式会社

素敵な創造～人へ・未来へ

日邦バルブ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀3046
 北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原6-120

<https://www.nippov.co.jp/>

お問い合わせ先

東京支店 〒160-0023 新宿区西新宿7-22-35 西新宿三晃ビル
 TEL.03-5338-2231 FAX.03-5338-2230
 札幌営業所 〒060-0041 札幌市中央区大通東7-1-29
 TEL.011-232-0471 FAX.011-208-2260
 仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-5-22 宮城県管工事会館
 TEL.022-213-3177 FAX.022-213-3266
 北関東営業所 〒327-0844 佐野市富岡町1422 エイコー吉川ビル
 TEL.0283-22-7547 FAX.0283-20-1069
 神奈川営業所 〒252-0303 相模原市南区相模大野7-18-3
 TEL.042-741-7121 FAX.042-765-7157

松本営業所 〒399-0033 松本市笹賀3046
 TEL.0263-50-5221 FAX.0263-50-5222
 名古屋営業所 〒464-0850 名古屋市千種区今池4-1-29 ニッセイ今池ビル
 TEL.052-735-6511 FAX.052-735-6510
 大阪営業所 〒541-0045 大阪市中央区道修町2-6-6 塩野・日生ビル
 TEL.06-6210-2563 FAX.06-6210-2564
 広島営業所 〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 和光広瀬ビル
 TEL.082-232-8117 FAX.082-232-8053
 福岡営業所 〒812-0896 福岡市博多区東光寺町1-23-1
 TEL.092-472-5128 FAX.092-477-2057

ISO 9001・14001 認証取得

このカタログに記載した内容は予告なく変更することがあります。
 また、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。